

会議顚末書

						記 録 者	副主幹	石川 純
供 覧	市 長	副 市 長	部 長	次 長	課 長	課長補佐	主 査 係 長	グループ員
件 名	令和7年8月臨時庁議							
年 月 日	令和7年8月20日（水）							
時 間	午後2時15分～午後3時							
場 所	3階庁議室							
欠 席 者	なし							
内 容	【審議事項】 1 「災害時協力井戸制度」の構築及び「防災井戸整備補助金制度」の構築について 資料に基づき防災安全課より説明 《主な意見・質疑等》 ・ 本日の庁議においては、制度を検討するための意見聴取に留め、当該事業を新規に実施するか否かの判断については、これから進める中期事業計画の策定作業の中で、市全体の財政状況等を勘案したうえで決定することとしたい。 ・ 災害時協力井戸の情報公開についての回答で、「近所」と回答した世帯が最も多い。近所だけでも協力いただける方は貴重な存在であるが、災害時協力井戸として広く周知させてもらえるように働きかけは続けてもらいたい。 ・ 防災井戸整備補助金制度について、「既設井戸へのポンプ設置」も対象経費としているが、これは手動ポンプを想定しているのか。 ⇒ 井戸は設置しているが、現在は使用していない場合のポンプの修繕を想定している。 ・ 自主防災組織が設置する井戸の設置先に、児童公園等の地域の公園内を希望する地区もあるとのことで、災害時の使用に限れば電気代もあまり掛からないため、電気代の公費負担も含め、協議の上で設置を検討しても良いのではないかと。 《協議結果》 詳細については、中期事業計画を策定していく中で調整していくこととする。							
	2 ごみ処理広域化に向けた本市の考え方について 資料に基づき生活環境課より説明 《主な意見・質疑等》 ・ 今回の枠組みは良いと思うが、この枠組みに変更することによるメリットが伝わるように状況を整理し、議会等への丁寧な説明に努めていただきたい。 ⇒ 第3回定例会に広域化支援業務に係る補正予算を計上している。この支援業務の中で試算等の整理を行っていく。 ・ 県計画の修正、循環型社会形成推進交付金のかさ上げについて、県や国との調整はできているのか。 ⇒ 県計画は修正していただけることを県に確認し、交付金のかさ上げについても県を通して環境省に確認済みである。							

	《協議結果》 了承 【報告事項】 3 有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）の水質検査結果について（最終報） 資料に基づき生活環境課より説明 《主な意見・質疑等》 特になし。 【その他】 特になし。		
要 措 置 事 項			
情 報 公 開	公開	非公開（一部非公開を含む）とする理由	
		公開が可能となる時期 （可能な範囲で記入）	